

研究機関：広島大学

研究課題名 腸内細菌叢をヒト化した消化器・代謝疾患モデルマウスの開発

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科消化器・代謝内科学 教授 茶山 一彰

研究期間 2017年5月15日から2020年2月24日まで  
研究費 2,000万円  
研究内容 腸内細菌叢をヒト化した消化器・代謝疾患モデルマウスの開発  
研究の意義 腸内細菌叢をヒト化した消化器・代謝疾患モデルマウスの開発は、腸内細菌叢と宿主の相互作用を明らかにし、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の発症メカニズムを明らかにする。また、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の治療法を開発する。この研究は、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の発症メカニズムを明らかにし、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の治療法を開発する。この研究は、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の発症メカニズムを明らかにし、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の治療法を開発する。

対象者

2017年5月15日から2020年2月24日まで 広島大学産院消化器・代謝内科を受診する患者  
研究の意義 腸内細菌叢をヒト化した消化器・代謝疾患モデルマウスの開発は、腸内細菌叢と宿主の相互作用を明らかにし、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の発症メカニズムを明らかにする。また、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の治療法を開発する。この研究は、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の発症メカニズムを明らかにし、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の治療法を開発する。この研究は、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の発症メカニズムを明らかにし、腸内細菌叢を介した消化器・代謝疾患の治療法を開発する。